

学習課題（小学校3年生）



【国語】計画を立てて、少しずつ取り組んでいきましょう。

- 〈学習内容〉 ※ノートか取組シートに書きましょう。
◆「モチモチの木」（教科書⑩122～136 ページ）に取り組めます。

このお話では、登場人物のせいかくをとらえる学習をします。

人物の会話や行動、そして語り手（物語の地の文を語る人）や他の登場人物がその人物について語る言葉などから、登場人物がどんな人物かを、とらえられるようにしましょう。



- (1) 全文を音読しましょう。
- (2) 五つの場面のうち、「霜月二十日のばん」の豆太と、「豆太は見た」の場面の豆太をくらべてみましょう。どんなところがちがいますか。思ったことを書きましょう。
- (3) 豆太は、どうしてモチモチの木の灯を見ることができたと思いますか。次のことをたしかめ、考えとその理由を書きましょう。
 - ・「医者様」の言ったこと(132 ページ 2 行目)
 - ・「じさま」の行ったこと(132 ページ 11 行目)
- (4) 豆太は、どんな人物だと思いますか。これまで学習したことをもとに、ノートや取組シートに書きましょう。
- (5) 豆太は、「霜月二十日のばん」の前と後で、変わったと思いますか。これまで学習したことをもとに、考えをノートや取組シートに書きましょう。

【書写】※習字道具の用意がむずかしい人は、^{えんぴつ}鉛筆で書いてみましょう。

◆^{ひら}平がな^{ふでづか}の筆使い ～つり～「丸み」

- (1) 教科書 34～35 ページを読み、丸みの書き方についてかくにんしましょう。
- (2) 始筆・送筆・終筆をいしきして、お手本を指でなぞりましょう。
- (3) すみをつけていない筆をもって、お手本を筆でなぞりましょう。
- (4) 筆にすみをつけて「木」を書きます。34 ページ「たいせつ」をさん考にして書きましょう。
- (5) 小筆を使って、自分の名前を書きましょう。



◆三年生のまとめ ～水玉～

- (1) 教科書 40～41 ページを読み、これまでに学習したことをかくにんしましょう。
- (2) 「水玉」を描くときのめあてを教科書 40 ページに書きましょう。
- (3) 始筆・送筆・終筆をいしきして、お手本を指でなぞりましょう。
- (4) すみをつけていない筆をもって、お手本を筆でなぞりましょう。
- (5) 筆にすみをつけて「水玉」を書きます。40 ページ「たいせつ」をさん考にして書きましょう。
- (6) 小筆を使って、自分の名前を書きましょう。

＜三年生で学習する漢字 ～^{こうひつ}硬筆(えんぴつ書き)～＞

～お手本をよく見て かきましよう～

- ① 点画の書き方や、文字の組み立て方に注意します。
- ② 筆順に気をつけて、字形を整えて書きます。



- (1) 教科書 50 ページ「三年生で学習する漢字」にのっている漢字を書きます。
- (2) 全部で 200 字あります。書く漢字をえらんで、書きましよう。

◆教科書 114～136 ページの新出漢字（「波」～「湯」）を練習します。

- (1) 156 ページを見て、ひつじゅんを指で書いておぼえましよう。
- (2) 読み方、使い方を声に出して言ってみましよう。
- (3) 出てきた漢字を使って、文を作りましよう。

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

- ・「モチモチの木」の学習では、登場人物の性格について、場面の移り変わりと結び付けて想像したことを伝える学習を大切にしています。文章から、「豆太やじさまの言動」、場面の様子から「豆太がどんな人物か」が伝わる部分を複数見付けられるよう、関わってください。
- ・書写の学習については、これまでの学習の中で取り組んでいないページがありましたら、ぜひ取り組むように声をかけてください。二次元バーコードを読み取ると、動画で筆の運びを視聴することができます(半紙や墨など習字用具の用意が難しい場合は、硬筆の学習に取り組んでください)。
- ・硬筆の学習については、学習で書いた字と、これまでの学習で書いた字を比較することで、自分の成長を実感することができます。